

EQガード 簡易操作説明書

1. 機能



(1) 避難機能:

実際に発生した地震の初期微動(揺れが弱く、カタカタと揺れる地震波)から主要動(実際に人や建物に被害を起こす強い揺れの地震波)の到達時間及び規模等を予測し、各学校に主要動到達前に警報音と音声文言で周知します。各学校では大きな揺れが来る前に安全な姿勢をとったり避難したりする事が可能です。

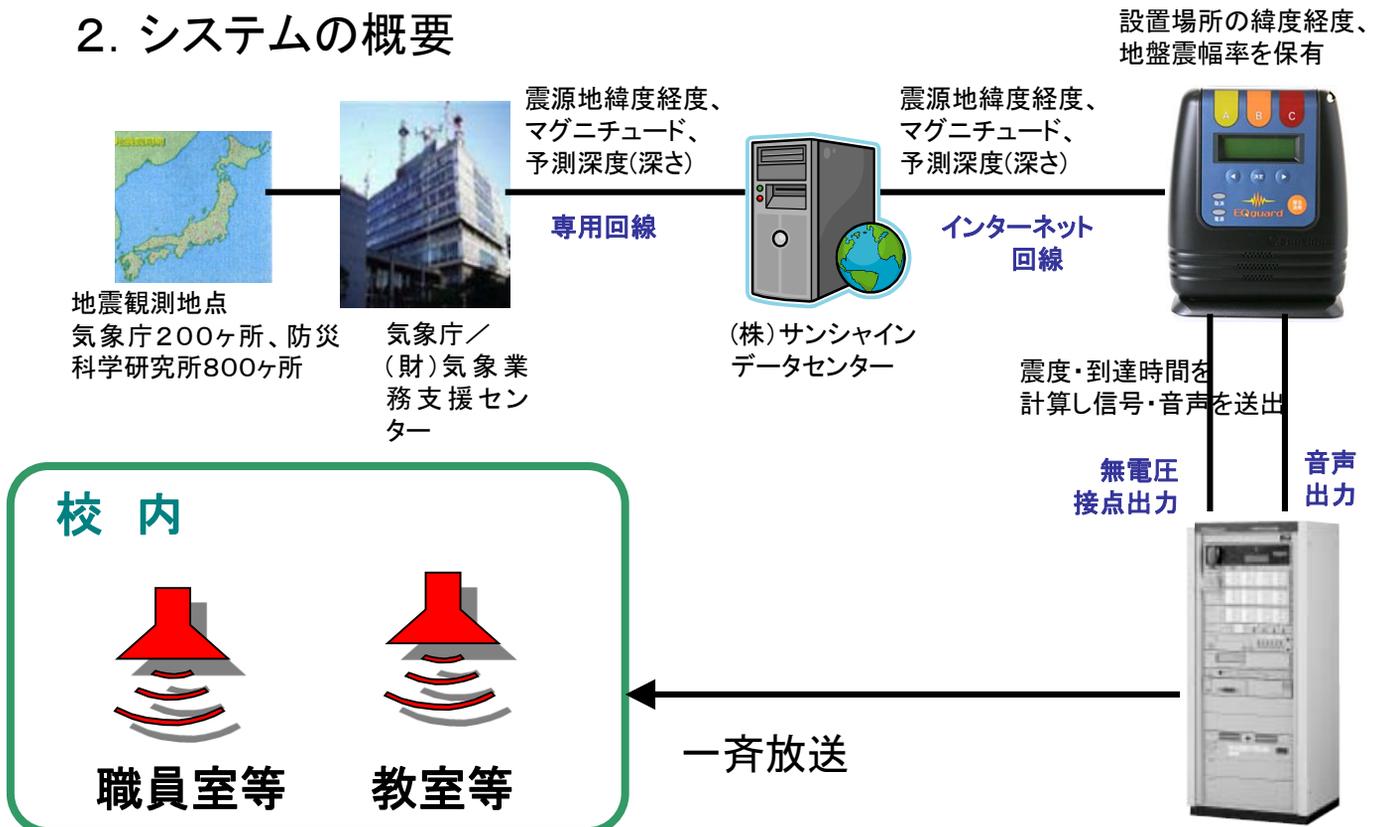
(2) 訓練機能: 訓練用に発報テストが可能です。発報テストは次の3種類です。

- ・ センタク1の場合の音声:
「訓練です。ビービービー(ブザー回数の設定によって変わります)
地震が来ます。震度5強 30秒後 ビービービー 10・9・8……0」
- ・ センタク2の場合の音声:
「訓練です。ビービービー(ブザー回数の設定によって変わります)
地震が来ます。震度6強 18秒後 ビービービー 10・9・8……0」
- ・ センタク3の場合の音声:
「訓練です。ビービービー(ブザー回数の設定によって変わります)
地震が来ます。震度7 10秒後 10・9・8……0」

(3) 定時報機能:

端末から定時(AM8:00)にチャイムにより発報し、端末からスピーカーまでの導通状況の確認を行います。サーバーから端末までは、1回/分の導通状況確認を行っており、これらにより全行程での通常状態の確認が可能となります。

2. システムの概要



3. 表示内容

(1)アナウンス(音声)

①構成: 警報音 + 音声文言

②警報音の種類:

A: NHK・・・「ポロン・ポロン」というチャイム音

B: REIC・・・「ファン・ファン」というサイレン音

C: サンシャイン・・・「ビー・ビー」というブザー音

③音声文言

a ショウサイ: 震度・到達時間のいずれも詳細

b アイマイ1: 震度が曖昧で、到達時間が詳細

c アイマイ2: 震度・到達時間のいずれも曖昧

d アイマイ3: 震度が詳細で、到達時間が曖昧

具体的な表示内容

	ショウサイ	アイマイ1	アイマイ2	アイマイ3
震度	震度1・2・3	小さな揺れです	小さな揺れです	震度1・2・3
	震度4・5弱・5強	大きな揺れです	大きな揺れです	震度4・5弱・5強
	震度6弱・6強・7	非常に大きな揺れです	非常に大きな揺れです	震度6弱・6強・7
到達時間	10秒未満	10秒未満	すぐに来ます	すぐに来ます
	30秒未満	30秒未満	まもなく来ます	まもなく来ます
	30秒以上	30秒以上	もう間もなく来ます	もう間もなく来ます

4. 設定方法

(1) 接点出力震度とアナウンス震度

緊急地震速報を受信した時、EQガードは、それ自体発報(アナウンス)しますが、EQガードのA接点出力と放送設備の接点入力を繋ぐ事により、通常、電源OFFになっている放送設備の電源をONにして、EQガードからの音声を放送設備のスピーカーから出力させます。

放送設備の電源をONにする震度が「接点出力震度」、EQガードが発報する震度がアナウンス震度です。

この「接点出力震度」と「アナウンス震度」は必ず同じ値にしてください。

片方の値を変更した場合は忘れずに、もう一方の値も変更してください。

出荷時設定は「接点出力震度」「アナウンス震度」共に4(震度)です。

接点出力震度:

放送設備の電源をONにして音声を放送設備のスピーカーから出せる震度は

Aで設定します。下記の状態では震度4以上の時だけに出力が出て放送設備をONにします。

他にB、Cの接点があります。

- ①左右のボタンを押して下記の画面を表示させます

AOFF	BOFF	COFF
<u> </u> 4	7	7

- ②決定ボタンを押し を点滅させます。

AOFF	BOFF	COFF
<u> </u> 4	7	7

- ③ をA、B、Cのいずれかに合わせて決定ボタンを押します。

AOFF	BOFF	COFF
4	7	7 <u> </u>

- ④右ボタンを押して を1行目の何も表示されていないところに移動させ決定ボタンを押します。(終了)
値の変更はA接点のみにしてください。B、Cは出荷時のままです。

アナウンス震度：実際の地震の時に端末が発報(アナウンス)を開始する震度

左右のボタンを押して下記の画面を表示させます

アナウンス シンド 4
ジシン テスト OFF

変更・決定の要領は上記の接点出力震度の項と同様です。

(2) 警報音の選択

1. 警報音の種類

左右のボタンを押して下記の画面を表示させます。

ケイホウオン
サンシャイン (又はNHK、REIC)

変更、決定の要領は(1)と同様です。
警報音の種類は「NHK」「REIC」「サンシャイン」の3種類です。

2. 警報回数

左右のボタンを押して下記の画面を表示させます。

ブザーカイスウ
2 カイ

変更、決定の要領は(1)と同様です。ブザー回数は1回～5回です。
放送設備の立ち上げ遅れによるアナウンス内容の頭切れ防止の為に2回に調整してあります。

(3) 音声文言の選択

左右のボタンを押して下記の画面を表示させます。

ヒョウゲンモード
アイマイ2 (又はショウサイ、アイマイ1、アイマイ3)

変更、決定の要領は(1)と同様です。

(4) 発報テスト

1. テストパターンの選択

①基本画面のとき、左ボタンを2回押し、下記の画面にします。

ジシン テスト センタク1
テストジ セッテン ON

②変更・決定の要領はP3の(1)と同様です。

2. 発報テストの実施

⑤④の画面の状態ですべてのボタンを1回押し、下記の画面にします。

アナウンス シンド 4 ジシン テスト OFF

⑥決定ボタンを押し、_ を点滅させます。

アナウンス シンド 4 ジシン テスト <u>OFF</u>

⑦_ を「ジシンテスト OFF」の「OFF」のところにあわせ、決定ボタンを押し、左右ボタンを押しON/OFFを切り替えます

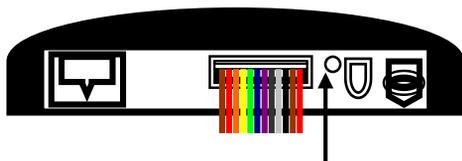
⑧ONになったら決定ボタンを押し、_ を2行目の何も表示されていないところに移動させ、決定ボタンを押します。

アナウンス シンド 4 ジシン テスト ON_

⑨下記のような画面が表示され、予測震度と猶予時間を表示します。この後テストが開始となります。

テスト ジョウホウ シンド5キョウ 30sec

⑩地震テストを行った後接点出力確認ランプが点滅し続けますが、防災復旧スイッチを押すと復帰できます。



防災復旧スイッチ

防災復旧ボタンは本体電源横の穴の奥にありますので、先の細いペンなどで押し戻して下さい。

(5) 定時報

左右のボタンを押し下記画面を表示させます。

テイジホウ OFF (又はON)

変更、決定の要領はP3の(1)と同様です。
必要ない場合は「OFF」にできます。

5. トラブルシューティング

EQガードは、弊社データセンターから毎分、信号を送信しており、通信異常の場合は「ネットワークイジョウ」と画面表示し、接点出力確認ランプの**Cランプ(赤)**が点滅します。その場合は以下のことを確認してください。

1. まず、VPN BOXのLEDをご確認ください。
(EQガードとLAN接続されております。右図参照)

- ①VPN BOX前面のPOWERランプは緑点灯していますか？

- 緑ランプが点灯していない場合
 - ・ACアダプタ(電源プラグ)がコンセントから外れていないか確認してください。
 - ・VPN BOX側面の電源スイッチが入っていることをご確認ください。

- ②VPN BOX前面のStatusランプは消灯していますか？

- 赤ランプが点灯している場合
 - ・VPN BOX側面の電源スイッチを入れなおしてください。
- 電源投入後、30秒程度で赤ランプが消灯します。
ランプ消灯しない場合、接続されているLANケーブル抜いた状態で再度電源投入を実施してください。

電源投入後、VPN BOXは以下のように状態遷移します。

- 1) LEDが全点灯します。
- 2) POWERのLEDのみが点灯し、その他は消灯します。
- 3) VPNのLEDが高速点滅します。(起動中)
- 4) VPNのLEDがゆっくり点滅します。(接続中)
- 5) VPNのLEDが点灯します。(接続完了)

- ③VPN BOX前面のVPNランプは橙点灯していますか？

- 点滅している場合
 - ・弊社VPNサーバと接続できておりません。構内ネットワークが正常かご確認ください。

2. VPN BOXのPOWERランプ緑点灯、VPNランプ橙点灯、Statusランプ消灯を確認後、「ネットワークイジョウ」が消えない場合、EQガードの電源を入れなおしてください。

以上を確認後も「ネットワークイジョウ」が表示される場合は下記にご連絡ください。



問い合わせ先: 株式会社チャレンジ

TEL: 03-5809-2304

FAX: 03-5809-2305